

献立ひとくちメモ

1月26日(木)



全国学校給食週間のお話です。

昭和40年ごろになると、主食に「ソフト麺」が登場するようになりました。今まで主食はパンのみでしたが、学校給食の主食の種類を増やすために開発されました。ソフト麺はビニール袋に個別包装されており、袋を指で十字に区切り、袋を開けて少しずつ麺を皿に出し、ソースに絡めて食べます。

当時の飲み物は脱脂粉乳でしたが、昭和40年ごろになると牛乳へと切り替わるようになりました。脱脂粉乳とは、牛乳中の脂肪分を除いて乾燥させた粉のことで、「スキムミルク」として現在も販売されています。水で溶いて飲むものですが、脂肪分がないので物足りなさを感じる人が多いそうです。

ミルクメーカーは牛乳をおいしく飲んでもらうために昭和40年代に開発された粉末のコーヒー牛乳の素です。現在ではいちごやバナナなど様々な味があり、また、混ぜやすい液体タイプもあります。